

2021年度事業報告

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding、沖縄フィールドワーク

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

■CEN A (Civil Society Education Network in Asia) 夏期学校 Web スクール(共催)

アジア各国の情勢や社会問題を討議し、武力によらない平和構築に向けて学生が学び合うプログラム。「アジアの民主化と平和 Democratization and Peace in Asia」と題して昨年度に続きウェブスクールを開催。各国参加者のプレゼンでは東京オリンピックと COVID19 の対策をめぐる問題、台湾北部・桃園市の藻礁を守る住民投票の運動、韓国北部・東豆川市の在韓米軍基地問題などが発表された

参加人数：57名

期 日：7月24日

参加団体：恵泉女学園大学、聖心女子大学、韓国・聖公会大学校、韓国・韓信大学校、台湾・世新大学、タイ・Asia Muslim Action Network、インドネシア・イスラーム大学、パキスタン・CWSA、早稲田奉仕園

■日中大学生による相互交流ワークショップ

中国延辺大学との来日・訪中プログラムとも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。2022年度の実施に向けて助成金を申請した

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

■韓国の人々に学ぶスタディーツアー2021

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

■企画展「祈りの人 渡辺禎雄型染版画展～齋藤治子コレクション～Vol. 4、5」

会 場：スコットホールギャラリー

期 間：Vol. 4 6月26日～30日、Vol. 5 1月29日～2月2日

来場者：Vol.4 約 42 名 Vol.5 約 11 名

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

オンラインでの活動を実施した

2021 年度合計：76 回授業日

授業日数：水曜日 37 回、金曜日 39 回

教師：延べ 199 名

学習者：延べ 278 名

■野宿者支援給食活動(共催)

参加者数：ボランティアは準備にのべ 213 人、配食に 318 人が参加した

活動実績：のべ 3131 食を準備し、2185 人の方にお渡しした(新型コロナ以前に戻りつつある)

協力：保存食は学校、大学や NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン、教会、個人よりご支援をいただいた。講演及びフィールドワーク受け入れについて大学、高等学校から依頼があり出講した。学生 YMCA の繋がりによってボランティアの参加があった

■災害被災者支援ボランティア活動

2021 年 3 月、東日本大震災 10 年を憶えるプロジェクトとして、岩手県大槌浪板地区での支援活動をまとめたスライドショーと絵本「かぜのでんわ」の朗読を配信した。寄付金贈呈式を 12 月 11 日に開催した

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語講座

はじめて文化や言語に触れる方対象のオンライン土曜集中講座を開講した。ベンガル語とヒンディー語は最少開講人数に満たず不開講となった

話題のテーマから学ぶ韓国語上級講座【新規】

期 間：6 月 19 日～7 月 31 日

受講者数：4 名

講 師：元 美鈴 (ウォン ミリョン) 韓国外国語大学校講師、韓国教育放送公社(EBS)『ラジオ中級日本語』執筆及び進行

■日本語ボランティア養成講座

2021年度はオンラインも併用して開講した。本講座は2021年度をもって終了した

期 間：初級Ⅰ 受講者6名

初級Ⅱ 受講者7名

中上級 受講者7名

講 師：数土容子(元武蔵大学非常勤講師)、坂本まり子(元日本大学、武蔵大学非常勤講師)

■多文化共生のためのボランティア講座ー地域における日本語学習支援について学びましょ う【新規】

地域における日本語教育が多文化共生社会の創生に資するためにボランティアは何ができる
のか、共に学ぶ日本語教育のあり方を考え、実践する講座

期 間：4月10日～7月31日

(全17回オンデマンド配信7回、オンライン授業9回、対面授業1回)

受講者数：5名

講 師：福村真紀子(親子サークル「多文化ひろば あいあい」代表、茨城大学助教)

■Let's 朗読

前期、後期ともオンラインで実施、後期の最終回はオンライン発表会を開催した

受講者数：前期(全8回)10名 後期(全8回)8名 1回120分

講 師：飯島晶子(朗読家・「VoiceK」主宰)

■スコットホールでゴスペルを歌おう

下記レッスン及びクリスマス発表会を実施

受講者数：13回実施、のべ30名参加

講 師：藤子(プロシンガー)

■パイプオルガン・アカデミー

期 間：2021年4月10日～2022年3月30日までに62レッスンを実施

受講者数：9名

内 容：プロのオルガニストによる個人レッスン

講 師：水野均(桐朋学園大学講師、早稲田教会オルガニスト)

協 力：早稲田教会

■STUDY HALL!

日本にいる難民や移民の方々とのつながりのきっかけとして、文化や状況を知るための連続
イベントをクルドとフィリピンに焦点を当て開催した

第 34 回 プレイベント 4 月 3 日	「カザンキラン一家とドーガン一家が残してくれたもの」 周香織(クルド人難民 M さんを支援する会事務局) 進藤 令子(大学教員 [University Lecturer in International Relations, Tampere University])	31 名
第 34 回 4 月 16 日～21 日	写真展「日本社会と難民～クルド人のまなざしから～」+映画『この国と私』上映会 中村隆介、飯野遼平(学生映像作家)	約 200 名
第 35 回 11 月 6 日	FILIPINO Minrants' NIGHT① 「KUSINANG PINOY～シニガンスープと在日フィリピン人移住史」 長瀬アガリン(KAFIN Migrant Center 代表) 永田貴聖(宮城学院女子大学教員)	11 名
第 36 回 11 月 20 日	FILIPINO Minrants' NIGHT② 「Defend Rainbow Pride～日本とフィリピンで交差するダブルマイノリティの声～」 富田すみれ子(BuzzFeed Japan ニュース記者) 山本芙由美(Deaf LGBTQ Center 代表)	30 名
第 37 回 11 月 27 日	FILIPINO Minrants' NIGHT③ 「BUHAY MIGRANTE～移住者の生活と労働者の権利～」 ロジャー・レイモンド(KAFIN Migrant Center 副代表)	17 名

■聖書講座－新しい聖書の学び『マルコ福音書をジックリ読む(第 4 期)』(共催)

受講者数：82 名

期 間：通年毎月第 2 火曜日全 10 回

講 師：山口里子(聖書学者)

共 催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■聖書講座－上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もう(第 3 期)－この時代の中で聖書からメッセージを読み解く(共催)

本講座は今年度で終了した

受講者数：26 名

講 師：上林順一郎(元早稲田教会牧師)

共 催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■オンライン・日本キリスト教史を読む I 明治編(共催)【新規】

受講者数：89 名

講 師：戒能信生(日本基督教団牧師、日本聖書神学校等講師)

共 催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター・関西セミナーハウス活動センター

(4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

舎生数：2021年度は4年生3名、3年生3名、2年生3名、1年生2名の計12名が在舎した

活動：朝の会 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、聖書研究(出エジプト記、ルカによる福音書)及び学生発表等を行った

舎生会 友愛活動・生活について話し合った

年間活動 入舎式後にオリエンテーションを実施し、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持った

協力：奥山京音牧師(早稲田教会)にカウンセラーとして、古賀博牧師、大矢直人牧師、中澤重光宣教師ほかに聖書研究のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕いただいた

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。友愛学舎を含む10学寮の担当者間で連絡を取り、12月2日に奉仕園にて会合を開催した

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生の留学生のための寮。9月に1名が退寮し、2022年3、4月に3名が入寮した。

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業 (国際友愛学舎)

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮。コロナ禍の中、引き続き早大レジデンスセンターとの情報共有に努め対応にあたった。

2021年度国・地域別居住者数(RA含む合計34名、15の国と地域)

日本	10	フランス	4	中国	3	イギリス	3
台湾	2	ポーランド	2	セルビア	2	韓国	1
香港	1	マカオ	1	デンマーク	1	チェコ	1
イタリア	1	アメリカ	1	ルーマニア	1		

■留学生健康相談室

コロナのため2020年度より閉室し、カウンセラーの先生方とオンライン相談の準備を行った

■ウェルカムパーティー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

■奉仕園クリスマス会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。友愛学舎は12月17日に舎生とOB・OG有志によるZOOMクリスマス会を開催した

■Cooking Exchange Program

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

■ホームビジット

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

■留学生インスタ写真展

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

■留学生スキー研修@万座温泉

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

月極駐車場及び事務所等の賃貸等を行った。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業

■施設の貸与(会議室・ホール)

- ・ 緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置期間中は18時閉館にするなど、営業時間を変更して対応した
- ・ お客様のご利用内容は、会議室・ホールは学習会、語学教室、音楽練習やコンサート、講演会など多岐に渡っている。

■施設・備品

103 会議室に大型ディスプレイを設置した。Zoom などリモート会議やプレゼンテーションの際に役立っている

■早稲田スコットホールギャラリー

写真展・絵画展の利用が増加、年間 6 件の展示会がおこなわれた

■プログラム(協賛を含む)の開催

チャリティ古本市を 4 月～6 月末、10 月末～12 月の 2 期開催した

3. 公益目的事業・収益事業共通業務

■業務管理システム等の整備

昨年度に引き続き、各部署の事務作業の自動化、デジタル化を進めてきた。セミナーハウスでは現金以外での料金接受が 7 月以降本格化した

4. 記念事業

ベニンホフ記念館(5号館)竣工・セミナーハウス開設 50 周年及びスコットホール献堂 100 周年記念として次の事業を実施、あわせて募金をおこなった。なお、「平和を築くために～未来への提言」プログラムはコロナの影響により中止とした

■ベニンホフ記念館(5号館)学生寮改修工事

ベニンホフ記念館(5号館)3・4階の第3国際学舎キッチン等共用部の改修、感染症等防止対策工事を実施。浴室、トイレはジェンダーフリー仕様を採用

■スコットホール 100 年史の発行

100 Years of SCOTT HALL WASEDA HOSHIEN GRAPHIC / HISTORY の 2 冊を発行。編集委員として早稲田奉仕園関係者 5 氏の協力をいただいた

■記念募金

2021年度は個人109名及び6団体より4,384,000円の寄付をいただいた。2021年度末寄付金累計額は6,907,500円である

■スコットホール献堂100周年記念式

日時：2022年1月29日13時30分から15時

会場：スコットホール講堂

出席者数：54名及びオンライン参加

内容：第1部感謝礼拝、第2部記念式

5. 法人総務

■財団会議

(1) 理事会

臨時理事会(4月15日)

第1回定時理事会(6月7日)

臨時理事会(7月6日)

第2回定時理事会(3月10日)

(2) 評議員会

定時評議員会(6月22日)

評議員みなし決議(8月15日)

(3) 常任理事会

第1回常任理事会(4月1日)

第2回常任理事会(5月24日)

第3回常任理事会(2月22日)

常任理事連絡会(10月6日)

(4) 評議員・理事・監事懇談会(11月27日)

(5) 職員会

原則毎月第1及び第3火曜日に開催

(6) マネージャー会議

原則毎月第2週を除く毎週に開催

■監査

監事監査 5月20日(決算)、12月1日(期中)

外部監査 4月1日(実査)、5月19日～20日(決算)、12月10日・2月24日(期中)

■月次会計報告

石橋税務会計事務所と毎月1回会計、財務の打ち合わせを行う

■役員等人事

【理事】重任：大橋正明、相賀昇、阿部千秋、稲垣隆一、小川忠、弦間正彦、古賀博、土屋忍、西川嗣夫(6月22日付)

新任：内田勝一(6月22日付)

【理事長】就任：大橋正明(4月15日付)

退任：大橋正明(7月6日付)

就任：内田勝一(7月6日付)

【常任理事】退任：大橋正明(4月15日付)

重任：相賀昇、古賀博、大橋正明(7月6日付)

【専務理事】重任：阿部千秋(7月6日付)

■登記

鎌田薫理事長退任及び大橋正明理事長登記(5月6日)

大橋正明理事長退任及び内田勝一理事長登記(8月4日)

■行政庁(内閣府)諸届

代表理事変更の届出(5月25日)

2020年度事業報告等の提出(6月29日)

役員報酬規程改訂の届出(8月25日)

代表理事変更の届出(8月25日)

2022年度事業計画書等の提出(3月29日)

■早稲田奉仕園賛助会員

68名に加入いただいた

■広報

奉仕園通信は81号(8月25日)、82号(3月31日)を発行、ホームページの更新及び「奉仕園

スタッフのブログ」の掲載を随時おこなった。また、1月29日にスコットホール100年史を発行した

■キリスト教施設長会議

新型コロナウイルス感染拡大のため中止した

6. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う措置

緊急事態宣言または蔓延防止等重点措置の発令期間中、職員の在宅勤務・時差出勤等を導入した。

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。